

平成23年度森の名手・名人認定証伝達式

平成23年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成23年度森の名手・名人に認定された県内の2名に対し、公益社団法人国土緑化推進機構から届いた認定証が10月21日、(社)岐阜県緑化推進委員会会長の 藤埴 守(岐阜県議会議員)から伝達されました。

今年度森の名手・名人に認定されたみなさん(敬称略)

森の恵み部門(シイタケ栽培)

本巣市外山

やまだ たかお
山田 多賀男

59年間わたり原木シイタケ栽培に取り組み、種菌生産、ジャンボシイタケ栽培、多孔栽培など新たな取り組みを展開し、卓越した技術とその普及について森の恵み部門において認められました。

森づくり部門(造林手(枝打ち)) 加茂郡白川町上佐見

やすえ まさゆき
安江 正行

50年間にわたり通直・無節の東濃桜の優良材生産に取り組み、自ら考案した木登り機を使った枝打ち技術を確立するなど、森づくり部門において卓越した技術が認められました。



左から安江正行さん、藤埴会長、山田多賀男さん、
森 林政部長



藤埴会長からお祝いの言葉を受けられる山田さん
(左奥)と安江さん(左前)

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・につぼん 運動」が平成14年11月に開始されました。

公益社団法人国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わる 樵、マタギ、炭焼きなどの生業においてすぐれた技を極め、他の模範となっている達人について、その内容により「森づくり」、「森の恵み」、「加工」、「森の伝承・文化」の4部門を設け、「森の名手・名人」として選定しています。

平成23年度現在の認定状況

全国の認定者数 924名(本年度67名)
岐阜県の認定者数 40名(本年度2名)
※岐阜県の認定者数は愛媛県の44名に次ぐ全国第2位となっています。